

平成23年度 第3回 公共交通勉強会 ～テーマ「課題から学ぶ」～

公共交通を取り巻く環境は、自家用車の普及、超高齢社会の到来など、様々な要因が複合的に重なり合う大変厳しい状況にあり、行政や交通事業者が単独で対応するには限界があります。

県では、平成 19 年度より毎年勉強会を開催しており、平成 22 年度は、相互理解を深めるため、行政と事業者を対象にした勉強会を計 3 回開催しました。

ただ、行政と事業者が話し合う雰囲気はできつつあるものの、自発的に率直に話し合うことのできる段階までには達していないことから、平成 23 年度は、平成 22 年度に引き続き、「持続可能な公共交通とするため、行政と事業者との協働体制を構築できる環境づくりを行う内容」の勉強会を開催します。



1 平成 23 年度の計画について

回数	日時	場所	対象	内容
第 1 回	平成 23 年 7 月 12 日(火)	神戸市内	行政 事業者	テーマ“バスまつり”。今年 9 月に尼崎市で開催の「バスまつり」を参考に、イベントを活用した利用促進策の提案。
第 2 回	平成 23 年 9 月 12 日(月)			テーマ“成功理由を探る”。「たま電車」で有名な和歌山電鐵、デマンド型交通導入の熊本県菊池市、路線評価指標を導入の本県豊岡市を招聘(3 団体とも地域公共交通活性化に係る国土交通大臣表彰を受賞)。ロールプレイングを通じた課題の洗い出しや、デマンド型交通の是非について検討。
第 3 回	平成 23 年 11 月 14 日(月)			テーマ“課題から学ぶ”。地域力があるにも関わらず取組が 1 年で終わった川西市大和団地を取り上げながら、持続可能な公共交通について検討。

2 第 3 回勉強会の概要について

- 目的：取り上げられる機会の少ない“持続しなかった事例”を参考にしながら、持続可能な公共交通に向けての取組と課題を探る。
- 日時：平成 23 年 11 月 14 日(月) 10:30～17:30 (午前中は参加任意)
- 場所：生田文化会館(神戸市中央区中山手通 6 丁目 1-40) 第 1 回の会場と同じ、第 2 回とは異なります
- 主催：兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課
- 後援：〔行政〕国土交通省近畿運輸局、兵庫県生活交通対策地域協議会、阪神都市圏公共交通利用促進会議〔事業者団体〕(社)兵庫県バス協会、関西鉄道協会
〔学識〕兵庫県立福祉のまちづくり研究所、交通まちづくり学研究会
- 対象：行政及び事業者の担当者(バス、鉄道) 約 80 名 第 2 回参加者数：85 名
- 内容：

	内容	講師など
午前	10:30～12:00 (参加任意) 講義「パーソントリップ調査の概要と活用方法」 昨年実施の今回 P T 調査は、県内全域が調査対象。来春の調査結果公表に先立ち、講義。	兵庫県 都市計画課、交通政策課 中央復建コンサルタント 白水 靖郎ゼネラルマネージャー
	13:00～13:10 挨拶	兵庫県 交通政策課長
午後	13:10～13:55 講演「課題から学ぶ ～川西市などの事例～」(仮)	大阪大学大学院 松村 暢彦 准教授
	13:55～14:40 講演「交通施策のヒント ～1人でも明日からできる身近な取組～」(仮)	京都大学大学院 土井 勉 特定教授
	14:40～14:55 休憩	
	14:55～16:30 ワークショップ 「できることからやろう！ ～行政と事業者が協働して実施する取組～」(仮)	京都大学大学院 土井 勉 特定教授 大阪大学大学院 松村 暢彦 准教授 大阪大学大学院 猪井 博登 助教 県立福祉のまちづくり研究所 北川 博巳 グループ長、天野 圭子 研究員
	16:30～17:25 <当日に発表します>	
	17:25～17:30 事務連絡	

3 申込方法について

- 別紙参加申込書により、EメールまたはFAXで、県交通政策課まで(※切:平成 23 年 11 月 4 日(金)) 第 1, 2 回に参加できなかった方や行政管理職の方のご参加も、喜んでお待ちしております。

4 その他

- 公共交通に関する勉強会です。可能な限り、公共交通機関を利用のうえ、お越しく下さい。

<問い合わせ先>
兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課
地域交通係 荻、計画係 山内
TEL: 078-362-3885 (直通)